

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道293号 <small>おおつき</small> 大月拡幅 起終点 自：栃木県足利市榑崎町 至：栃木県足利市大月町	事業区分 一般国道	事業主体 栃木県 延長 2.1 km
事業概要 一般国道293号は、茨城県日立市を起点とし、本県中央部を横断し、足利市に至る幹線道路である。また、現在整備が進められている北関東自動車道（仮称）足利インターチェンジ（以下足利IC）へのアクセス道路でもある。本事業区間は交通量が多く、朝夕の通勤時間帯には渋滞が発生しており、北関東自動車道の供用により、更なる交通渋滞が予想される。大月拡幅は、北関東自動車道へのアクセスと円滑な交通を確保することを目的とした延長2.1 kmの4車線道路である。		
H8年度事業化 H2年度都市計画決定		H8年度用地着手 H16年度工事着手
全体事業費 55.0億円		事業進捗率 51%
計画交通量 19,500台/日		供用済延長 km
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 4.3 (残事業) 9.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 28/59億円 (事業費：26/57億円) (維持管理費：2/2億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 254/254億円 (走行時間短縮便益：241/241億円) (走行費用減少便益：9/9億円) (交通事故減少便益：4/4億円)
事業の効果等 ・他のプロジェクトとの関係（北関東自動車道と一体的な整備） ・個性ある地域の形成（地域振興プロジェクトの支援）		他8項目該当
関係する地方公共団体等の意見 大月拡幅は、通過車両の円滑な交通、地域交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、足利市をはじめとする関係10市4町の首長で構成される国道293号整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成17年11月25日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 足利インタービジネスパークの分譲開始		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成17年度までに約81%の用地を取得するとともに、長途路川に架かる2橋の橋梁下部工を完了させる予定である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 沿線の物件の移転が多く移転先地の確保など用地交渉に時間を要し、また、周辺において足利インタービジネスパークが計画され、足利ICへのアクセス道路の接続方法について計画調整に時間を要したことによる。今後は、北関東自動車道道路の供用開始と整合が図れるよう、足利IC接続区間の工事及び現道拡幅区間の用地取得を推進するとともに、足利インタービジネスパークなど地域振興プロジェクトを支援できるよう、早期整備に努める。		
施設の構造や工法の変更等 足利IC周辺地域に足利インタービジネスパークが計画され、足利ICへのアクセス道路の接続方法が変更となった。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。